

シリーズ化し、各事業所における意思決定支援の取り組みを紹介しています。
今回は「ともいきライフ月影」の取り組みを紹介します。

言葉にできない思い

本当はこれもしたかった！“私の好きな事”

好き？と聞いても“うん”

嫌い？と聞いても“うん”

全ての質問に頷かれている。

どちらがほんとの気持ちだろう？

通所されると相手を見つめて元気な笑顔で

“おはよう”と伝えてくださる A さん。

話してくださる言葉は「うー。」だけれど、嬉しい事や楽しい事、悲しい事や困っている事、その時々で“自分の気持ち”を表情や行動、時にはジェスチャーで語ってくださいます。

どのような活動を行いたいかが自分で伝える事が一見難しいと思われそうですが、ご家族とお話を重ねながら、私たち支援員が日々の関わりの中で興味がありそうな事や実現できる可能性がある事を推考し、ご本人に合った支援を模索しています。

創作活動を提案すると手元のクレヨンや画用紙ではなく、周囲の様子を見ている事が多く、絵をかくことの楽しみや完成するまでの達成感を心の底から楽しまれているという気持ちはあまり読み取れません。しかし、歩行に出かけると雨上がりの排水溝の音や草刈り機の音にびっくりされて手を強く握られる事があっても黙々と歩かれる姿や、リズムを取りながら童謡を歌うとキラキラとした目で手拍子をしながら歩かれる姿がみられます。天候が悪く外歩行に出られない日は廊下や大広間を座り込んで

しまう事なく、手を繋いで何往復も歩く事ができます。また、連絡帳には“休日に家族で1時間程お散歩に出掛けました。



ニコニコずっとごきげんでした。”と穏やかなメッセージが書き綴られている事が多くあります。
この事から“Aさんは歩行が大好きなのだろう”という推測の元、毎日の活動は歩行中心で行ってきました。

ところが、ショートステイを利用された際「音楽を掛けたら A さんが腕を上げたり、回ったりして踊っていたよ。」と A さんと普段は関わりが少ない職員が教えてくれました。その職員が踊り回ると A さんもクルクル回り、両腕を上げると抜群の笑顔で両腕を上げて踊っていた A さん。模倣をしながらダンスを踊っている！“本当はこれもしたかった”通所だけでは見つけられなかった新たな行動に驚き、視野が広がった瞬間でもありました。この事をご家族にお伝えすると、知らなかった行動だったとの事で“場所が変わった事で何か感じたのかも知れませんが、家では見せない様子を知れて嬉しいです。”と、お話をいただきました。

10月の月影まつりのステージ発表に向けてダンスの練習をこれから始めます。今までは、楽器を持ちリズムに合わせて音を鳴らす役割を担って頂きましたが、今度のおまつりではダンスに挑戦し、ご家族の皆さんに A さんのダンスを披露できたらと考えています。

言葉での意思伝達が難しくても本人の思いの実現に向けて夫々の個性や背景を理解し、尊重しながら何気ないメッセージに関わる皆で発見し、見極め共有し合う事の大切さを改めて認識した出来事でした。

今までは歩行にとらわれていましたが“私の好きな事”を見つけながら活動の幅を広げていきたいと思えます。

明日もたくさんの笑顔に出会えますように。

ともいきライフ月影 通所部 (文章:小林 祐子)



きらきら星 みつけた!

ともいき宝池和順では、魅力ある事業所づくりの一環として、月に1~2回のお楽しみ企画を実施していきます。
第1回目の企画は、「夏祭り」! みんなで夏祭りメニューを作り、ゲームをして楽しみました。その様子をご紹介します。

ともいき宝池和順 夏祭り篇



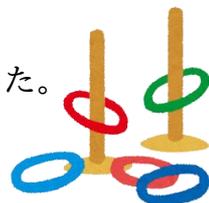
会場作りからスタートしました。この日の為に手作りした装飾を、窓や天井に飾ります。
BGMで東京音頭や上田わっしょいが流れると、笑顔で踊り出す利用者さんもいました♪



お料理は、焼きそば・チョコバナナ・フランクフルトの3つを、みんなで分担して作りました。
利用者さんの中には、YouTubeで予習してくるなど、やる気満々で取り組んでいました。
とっても美味しく出来ました!



午後は、ゲーム大会!
的当て・輪投げをしました。
優勝目指して
がんばっています!!



体を動かした後は、冷たいかき氷!好きなシロップを選び、チョコバナナをトッピングしました。みんなおかわりして、大満足でした。



今回は「夏祭り」というテーマで、利用者さんとお料理や、ゲームを楽しみました。
今後ともともいき宝池和順ならではの楽しみ企画を考え、皆さんにもご紹介していきたいです。



道標 (みちしるべ)

グループホーム職員 木下 文夫

超大型の台風10号が日本列島を横断しそうな現在、これまでに経験したことがないような災害が発生しそうだと言われている。

『備えあれば憂いなし』を再確認したいと思います。広報うえだ8月号に掲載されている「避難者カード」や備蓄品のリスト等も有効に活用できれば良いと思いました。

パリパラリンピックが始まっています。パラリンピックは第1次世界大戦で負傷し傷痍軍人となった兵士たちのリハビリから始まったといわれています。現在では共生社会に向けたヒントが内包されている大会として注目されています。日本選手団は海外開催では過去最高の175選手が出場し奮闘が期待されています。GHには自動車運転免許の取得に向けて努力を続けているNさんがいます。1年くらい前から予備学習を始め、学科試験の突破に向けて世話人も並走してきました。上手いかずくじけそうになる時もあるようですが、自ら描いた夢をつかんで欲しいなと強く願っています。



8月は暑い日が続きました。盆休みの軽井沢では国道が大渋滞で町民も買い物などに支障が出ていますと聞きました。静かな避暑地だけにオーバーツーリズム(観光公害)の勢いがすごいようです。



鎌倉時代後期の作家吉田兼好の『徒然草』の一節に「ありのごとく集まりて、東西に急ぎ、南北にはしる人、高きあり、いやしきあり、老いたるあり、若きあり。ゆく所あり、帰る家あり。夕にいねては朝におく。いとなむ所なのにことぞ。生をむさぼり、利を求めて、やむ時なし。」(第七四段)があります。現代社会の状況と似ているように感じます。人々はそんなに集まって、急いでいったい何を目標そうとしているのでしょうか。兼好法師は少しでも長生きしたいとか儲けたいとかの欲からくるものだと説きます。時代を超え、名誉や利益におぼれて心が麻痺している姿と重なります。



つい最近、買い物のおつりで新札が入るようになってきました。私は新し物好きなので、しげしげと眺めたり、これは記念に取っておこうかなと思ったりしました。そう言えば守礼の門が描かれている2,000円札も切手帳に挟んでいましたが金欠病でいつの間にか消えてしまいました。お札を拝見していると、どうして銀行券に人の顔があるのかと思ったりします。いかなる人物かを知らないこのおじさんがどうして?と懐疑的になってしまいます。新札のお顔に慣れるまでにはもう少し時間が必要なようです。

(R6.8.30 入稿)



味遊カフェニュース



7月のはじめに接客研修をしました。今回は新しい試みで、ともいきライフ住吉の皆さんにお客さん役として来て頂き、研修に挑みました。いつもはスタッフ同士でお客さん役をするので、ちょっと違った緊張感でできたと思います。久しぶりに会う利用者さんや職員さんもあり、接客の後に「ちゃんと声が出てよかったです」など声を掛けてもらい、励みになったようです◎住吉の皆さんも楽しんで頂けたようで、またこういう機会を設けていきたいと思えます!



前回のともいきライフ住吉 早津 誠さんからバトンを受けとったのは 蓮の音こども園の石井 綾華 さんです。

●○私の推し活●○

皆さんこんにちは。蓮の音こども園に所属している石井と申します。

突然ですが、皆さんは推し活ってしてますか？私はコロナ禍にYouTube 動画を見る事にハマリ、そこで推しとの運命的な出会いを果たしました。その名も『板橋ハウス』——板橋でルームシェアをしている



男性3人組で、普段は別々のコンビを組んでいる若手お笑い芸人です。動画内容は「一番ダサく部屋から出られた人が勝ち」等、男子大学生のよくあるふざけたノリが延々と流れています。私と同世代という事もあり、すぐファンになりました。

そして今年、板橋ハウスの4大都市ツアーが決定したのです。これは行かない手はない！と思いついでに応募し、見事当選する事ができました・・・が、ここで大きな問題が一つ。実は私、一人で県外に出た事がない上に極度の方向音痴なのです。でも推しに会いたい気持ちが強かったので、スマホを駆使して電車の時間や駅構内図、どこのホームの何番線に行けばよいのか等など・・・調べに調べ尽くしました。いざ決行の日。とてつもない不安と緊張で押しつぶされそうでしたが、乗り換えもうまくいき、名古屋、大阪公演は無事に行って帰って来る事ができました。不思議なもので、一度経験してしまうと「なあんだ、一人でどこにでも行けるじゃん！！」と謎の自信がつかしました。次に目指すは福岡。飛行機は怖いので電車と新幹線を駆使して推しに会いに行きたいと思えます♡

今回の経験を通して、改めて推しの力は偉大な、と痛感しました。好きなものがある事で毎日の生きる糧になるし、そのために苦手な事にもチャレンジできるって、素敵ですね。そしてそれは、利用者さんにも言える事だな、と思います。なのでこれからも自分の推しを全力で応援しながら、利用者さんにも素敵な推し(余暇)を見つけていきたいと思えます♪



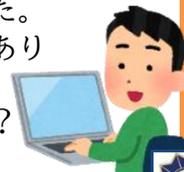
石井さんありがとうございました！さて次回のリレーコラムは...

『甘露保育園 田中 沙綾香 さん』です。よろしくお祈りします！

編集 後記

今年の暑さも異常な暑さでした。皆さん体調などは崩されていませんか？日頃の業務お疲れ様です。まだまだコロナ禍ではありますが、生活が徐々に元に戻りつつあります。7月に何年かぶりの「全国施設長会」で東京に出かけてきました。会場研修とオンデマンド研修のハイブリッド方式で行われました。コロナ禍ではありましたが、全国から大勢の管理者の方が来られていました。久しぶりの東京研修とても有意義な時間を過ごしました。各事業所での飲み会も再開されていますか？

広報・情報処理管理委員長 大野 政博



今すぐホームページをチェック！ ⇒



<https://ueda-mei-shoukai.or.jp/>